NaITE#21 開催レポート

2017 年 5 月 9 日

報告者：藤沢　耕助（NaITE）

1 開催概要

2017 年 4 月 22 日　NaITE#21 を以下のように開催しました。

開催日時	2017/4/22（土） 14:00 ～16:50		
開催場所	大田文化の森		
メインテーマ	PSP 概説＆体験ワーク		
キーワード・タグ	PSP CMMI		
プログラム	14:00～14:10	オープニング「開会のご挨拶」	NaITE 運営スタッフ
	14:10～15:20	セッション 1「PSP(Personal Software Process) 概説」	くまきち 氏
	15:30～16:40	セッション 2「体験ワークショップ」	くまきち 氏
	16:40～16:50	クロージング	NaITE 運営スタッフ

©NaITE All rights reserved.

2 勉強会の様子

今回は「PSP(Personal Software Process) 概説＆体験ワーク（おかわり）」というタイトルで勉強会を行いました。

PSP とは，CMMI（Capability Maturity Model Integration）や前身である CMM を開発したハンフリー博士が提案した自己改善のプロセスです。PSP を活用することにより、技術者個人個人のエンジニアリングスキルや生産性、作業や成果物の品質を向上させることができます。今回は以前開催した勉強会の再演でしたが、内容は前回の勉強会を元に改良されており、参加者は講義とワークでの実践を通じて PSP に対する理解を深められたようでした。

2.1 オープニング

オープニングでは NaITE スタッフから本イベントの注意事項、NaITE についての紹介、当日のプログラムについて説明をいたしました。その他現在活動中の SIG、活動を完了した SIG についての案内も実施いたしました。

©NaITE All rights reserved.

2.2　セッション１「PSP(Personal Software Process) 概説」



くまきち 氏より、PSP と TSP、これに関連して CMMI について概要を説明いただきました。

PSP は「パーソナル・ソフトウェア・プロセス」の略であり、自分が行う作業の計画値と実績値を蓄積することにより、個人の作業の管理やそのやり方（プロセス）を改善する手法であると説明されました。また、PSP はソフトウェア開発のみならず日々の仕事においても、見積もりの精度やプロセスの改善につながると話されていました。PSP, TSP については実際の事例についても紹介され、PSP, TSP の実務への適用を意識したセッションとなっていました。その他、PSP ガイドブックや PSPBOK, TSPBOK など参考となる資料についても紹介いただきました。

©NaITE All rights reserved.

また，講義のあとは，質疑応答の時間を取っていただきました。

■当日の質疑応答

Q1. 定型的な作業にかかる時間と、課題解決にかかる時間は計測を分けた方がよいのではないか。

A1. 定型的な作業と課題解決など、特性の異なる作業においては計測を分けた方が良い。

Q2. TSP を実践する際に、PSP の修得レベルによってばらつきが出てしまうのではないか。

A2. メンバーの修得レベルを近づけるための施策（教育受講など）を検討するとよい。実際、PSP を知らないプロジェクトメンバーが合流する際、PSP の教育を実施していたケースがある。

Q3. チェックリストを使用してプロセスを改善する場合、一度達成した項目についても履歴として残しておくべきではないか。

A3. 確かにそうした方が良い。項目を履歴として残しておけば、そのチェックリストは後輩の教育や育成にも活用することができるのではないか。

Q4. 試行しようとしたことはあるが、計測に時間がかかるため途中で PSP を断念してしまった経験がある。何か進めやすくする工夫はあるのか。

A4. 確かに PSP において計測に時間がかかるのは課題となっている。この解決策についても、PSP の活動 SIG の中で検討していきたいと考えている。

©NaITE All rights reserved.

2.3　セッション２「体験ワークショップ」



体験ワークショップでは、ある一定文字数の文字を白紙に記入する作業にどれくらいの時間がかかるか見積もり、実際に書いて計測した作業時間と見比べるというものでした。また、ワークの題材には「でんでらりゅう」という長崎の童謡が取り入れられており、次回の長崎 QDG を意識された内容となっていました。

ワーク終了後は「作業によって手順や難易度に特性があり、この違いを考慮して見積らないと（計画値と実績値で）差異が出てしまうと思った」などの感想が寄せられ、参加者も実際に PSP の見積もりを体感してみることで理解が深まった様子でした。

©NaITE All rights reserved.

3 参考情報・リンク等

当日の発表資料等は以下をご参照ください。

・OP 資料

https://www.slideshare.net/NaITE_Official/naite-21psp

・発表資料

https://www.slideshare.net/NaITE_Official/psp-76139305

4 次回の予定等

次回は 5/20「はじめてのバグ票システム～導入実践ガイド　勉強会」として開催する予定です。

以上

©NaITE All rights reserved.